

第21回症例検討会

case40

2022年 10月 17日

「鍼灸院から医療機関へ

三尖弁逆流証(三尖弁閉鎖不全症)の症例」

三尖弁逆流症

(三尖弁閉鎖不全症)

三尖弁逆流症 (TR) は、三尖弁の閉鎖不全により収縮期に右室から右房に向かって逆流が生じる病態である。最も一般的な原因は右室の拡大である。症状や徴候は通常みられないが重症TRでは頸部の拍動、全収縮期雑音、および右室由来の心不全または心房細動が引き起こされる。診断は身体診察および心エコー検査による。TRは通常良性で治療を必要としないが一部の患者では弁輪形成術、弁修復術、または弁置換術が必要になる。

三尖弁逆流症

(三尖弁閉鎖不全症)

病因

原発性の三尖弁逆流症は比較的頻度が低い。

静注薬物使用者の感染性心内膜炎、カルチノイド症候群、鈍的胸部外傷、リウマチ熱、特発性粘液腫様変性、先天異常など。

または特定の薬剤によって生じた弁の異常が原因である。

医原性の原因として、三尖弁を横断するペースメーカーのリードや右室の心内膜心筋生検時に生じた弁損傷などがある。

二次性の三尖弁逆流症は**正常弁の機能不全をともなう右室拡大**が原因で生じることが最も多く、**肺高血圧症、右室機能障害**による心不全、**肺動脈流出路の閉塞**などでみられる。

長期にわたる高度TRは、右室機能障害による**心不全や心房細動につながる可能性がある。**

三尖弁逆流症

(三尖弁閉鎖不全症)

症状

三尖弁逆流症は通常無症状であるが一部の患者では頸静脈圧の上昇による**頸部の拍動を自覚**することがある。

重症TRの症状は、**疲労、腹部膨満、食欲不振**などである。心房細動または心房粗動の症状がみられることもある。

60代 女性

主訴：みぞおちの不快感

医師の診断名：三尖弁閉鎖不全症

既往症：l 拇指MP関節腱鞘炎 r 膝関節外側部の痛み

医療機関：近隣の各専門科クリニック 漢方クリニック 鍼灸院

内服薬：半夏厚朴湯 大建中湯

サプリ類：EPA DHA

生活歴：【アルコール】ご主人の晩酌のお付き合い程度

【食事】一般的な60代の食事 間食に和菓子

出産歴：なし

アレルギー：なし

現病歴：

ある日、通院中の患者さんが「みぞおちの違和感」を訴える。
胃腸の感染症の兆候(熱や下痢、嘔気)もなく
季節性の自律神経の失調によるものではないかと考え
鍼灸施術を行い経過観察とする。

客觀的情報

身長：1 5 7 釐 體重：4 5 公斤

BMI：1 8 . 2 6 kg/m²

体温：3 6 . 3 °

脈拍：6 6 回/分

血压：1 1 2 / 7 3 mmHg

SpO₂：9 8 %

檢查：BNP 3 7 . 3 H b A 1 c 6 . 5 LDL 1 4 8

血糖 8 0 RF 5 未滿

東洋医学的情報

証：脾気虚

寒熱：手足の冷え 燥湿：のどか湧きやすい

汗：閉経後、汗をかきやすい

食事：間食の和菓子が楽しみ

二便：平 睡眠：寝つきが悪い

月経：閉経 精神：夜間の近隣の物音が気になる 繊細

脈診：

やや滑、やや虚にして緩

腹診：

強い積や聚はなし

治療

取穴：背部兪穴に置鍼と点灸 手足の要穴に置鍼 関節部に標治

刺鍼法：補 浅刺 置鍼

得気：無

深さ：2～4 mm

通電：無

頻度：1 / 2 w

経過

X年2月 最近、みぞおちの違和感が続き
食欲が低下しているとの事。

繊細で不安を感じやすいタイプでもある事から
季節性のものではないかと患者さんと話し
経過観察とした。

(下痢や嘔気などなし 発熱もなし)

経過

2週間後 引き続き、みぞおちの違和感が続いているとの事。

普段よりも血圧が高い状態が2回続き

DAPAカンファレンスで総合診療科の先生から

上腹部の訴えが循環器系(心臓)の病変を示している

可能性について気を付ける事

また、訴えから考えられる重病から

否定していくことの大切さへの言及があったことを思い出し

かかりつけ医にご相談して頂くことを伝えた。

経過

X年3月 軽度の三尖弁逆流症の診断。
かかりつけ医の先生に血圧のお話と
みぞおちから胸にかけての違和感を伝えて頂き
エコー検査と血液検査をすることとなった。
BNP37.3 A1c6.5 LDL148
RF（リウマトイド因子）5未満

考察

みぞおちの違和感が、三尖弁閉鎖不全のためであったかは不明。
しかし、検査と診断を経て症状は消失した。
患者さんとしては隠れた疾患が発見されて安心した様子であった。

未病や養生を期待して、鍼灸院へ長く通院するケースも多い。
患者さんの状態をあらゆる側面から把握する事は
信頼関係を築くうえでも重要であると考える。

鍼灸師にとって古典的な身体の状態の把握も大切であるし
現代的な健康診断等による身体の状態把握も重要である、と考える。

文献

参考文献

MSDマニュアル プロフェッショナル版
三尖弁逆流症(三尖弁閉鎖不全症)